

こう や はた かまいしせんつちざわえき はなまきし どうわちよううきた
高野畑遺跡は JR 釜石線土沢駅の南約 6.5 km、花巻市東和町浮田

しよざい どくさわがわ
に所在します。遺跡の南側には毒沢川が東から西へ流れています。

さかい たにぞこ へいや
毒沢川を境にして、南側には川によって作られた谷底平野が広が
り、北側には緩斜面が東から西へと延びており、ここが遺跡の範
囲と考えられています。

なかないはしゆつじよ ろうきゆうか ともな
本遺跡では、平成 8 年に花巻警察署中内派出所の老朽化に伴う
建て替え工事に際し、新築予定地が遺跡範囲内に該当するため、
はくつちようさ
発掘調査が行われました。

たてあなじゆうきよあと どう ほったてばしらたてものもと
この調査で、平安時代の竪穴住居跡 2 棟、掘立柱建物跡 1 棟、
しょうどい こう き どころ みぞあと じょう
焼土遺構 9 基、土坑 2 基、小ピット 67 基、溝跡 7 条が見つか
りました。当時の東和町内における初めての平安時代の集落の
発見例となりました。出土遺物は、土師器の坏や甕、高台付坏、
す え き つぼ どすい
須恵器の坏や甕、壺、土錘などです。

こんせき
土坑では、柱のようなものがたてられていた痕跡が確認され、
出土遺物に高台付坏が 2 点見つかりました。その内の 1 点の底部

の裏にはカタカナの「ユ」
あるいは漢字の「工」の
字に似た文字が線刻され
ていました。



高野畑遺跡出土遺物 底部の裏にカタカナの「ユ」あるいは漢字の「工」に似た文字が線刻された高台付坏